

# 寝屋川市社協 ボランティア体験プログラム 参加申込書

フリガナ				フリガナ				
氏名	(男・女)			住所	〒 ー ー			
自宅の電話	ー ー							
自宅以外の緊急連絡先	携帯・その他( )							
勤務先 学校名				参加経験	体験プログラムの参加は 初めて・2回目以上			
区分 該当するものに○をつけてください	学生の方	小学生( 年)・中学生 高校生・専門学生 大学生(短大生も含む)		課題での参加 (ボランティア体験学習・職場研修等)  はい・いいえ				
	学生以外の方	20歳未満 40～49歳	20～29歳 50～59歳	30～39歳 60歳以上				
このプログラムを 何でお知りになりましたか	社会福祉協議会・ロコミ・学校 ホームページ(府社協・市町村社協・その他 ) 広報紙(名称: ) その他( ) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">該当するものに○をつけてください</span>							
参加動機								
参加を希望するプログラム	第1希望	プログラム番号	施設名	活動希望日	第2希望	プログラム番号	施設名	活動希望日
	第3希望	プログラム番号	施設名	活動希望日	第4希望	プログラム番号	施設名	活動希望日
同意書	<p>※高校生以下の方は、保護者の方の参加についての了承をお願いします。</p> <p>ボランティア体験プログラムに_____が参加することを同意します。</p> <p style="text-align: right;">保護者名_____ (印)</p>							

## 申込上の注意

- **活動希望日の10日前までには必ずお申込ください。**
- 複数のプログラムを同時に申し込むことができます。
- 申込の際は、**この申込書と82円切手を貼った返信用封筒(返信先記入のもの)**を提出してください。
- 行事参加者傷害保険(ボランティア体験プログラム専用保険)の加入について  
参加される方全員、行事参加者傷害保険(ボランティア体験プログラム専用保険)に加入いたします。

ボランティア体験プログラムに参加されるあなたに



## 楽しいボランティアのためのお願い

ボランティアとは・・・ボランティア活動は、誰でも参加できる日常的な活動で、周囲の人や社会のために自発性に基づいての活動です。

ボランティア活動の4つの原則・・・①自主性、主体性②社会性、連体性③無償性、無給性  
④創造性、開発性、先駆性

ボランティア活動の意義・役割・・・豊かな人間関係と生き方を培っていく  
色々な人や自然と共生する社会づくり  
連携と新しいコミュニティの創造  
活動を通して市民力を高めていく



### 1. 活動前にはこんなことを確認しましょう

- \* ボランティアを有意義に行うために、「こんな体験をしたい」「こんなことが楽しみ」というような、「積極的な動機」を自分の中で確認しておきましょう。
- \* 活動日までに日程・時間・服装・交通機関・必要経費・食事などの基本的な事項を確認しておきましょう。
- \* 体験に関する不明なことや心配なことは、気軽にボランティアセンターへ相談しましょう。

### 2. 活動先ではこんなことを心がけましょう

- \* 活動先では、利用者の生活・活動が最優先です。相手が何を望んでいるか、相手の立場に立って考え、また、活動中に知り得た利用者のことなど個人情報には絶対に外に漏らしてはいけません。
- \* 利用者との「関係づくり」はボランティア体験においてとても大切です。笑顔で挨拶を行い、自分の方から積極的に話しかけてみましょう。
- \* 活動先では、それぞれの取り組み方針があり、各利用者への援助の内容や目的も個々に違います。スタッフの指示は必ず守ってください。  
なお、やりたいことがあれば、事前に伝えましょう。また、疑問に感じたことは、自分から積極的に質問してみましょう。

### 3. 自分の「気づき」を大切にしましょう

- \* ボランティア体験では、心に余裕を持ち、感受性豊かに自分で「感じる」ことが大切です。ぜひ、様々なことに気づいてください。
- \* 活動後、自分の体験や感じたことを家族や友人に話したり、記録にまとめて振り返ってみましょう。自分の体験を言葉や文字にすることで、福祉に対する知識や考え方が深まり、また自分自身のことも気づかせてくれるはずですよ。

#### 【注意点】

- ・ 健康管理に気をつけること。(うがい・手洗いを忘れずに。体調の悪いときは早めに相談すること。)
- ・ 携帯電話の電源は必ず切っておくこと。
- ・ 服装は「体験のときに着用するもの(動きやすい服装)」を活動の内容を想定しながら考えること。暑い季節なので帽子やタオル、飲み物は必須です。ノースリーブやミニスカートなど身体露出のあるものは禁止。サンダルやぞうり等も適しません。
- ・ 身だしなみは清潔で相手に好感をもたれるよう気をつけること。(アクセサリーは禁止。無精髭や過度の化粧・香水に気をつける。爪や髪にも注意。)